

第2次安曇野市環境基本計画

令和2年度 年次報告書

2021年3月

安曇野市

目 次

1	年次報告書について	1
1-1	目的	1
1-2	記載事項	1
1-3	留意事項	1
2	第2次安曇野市環境基本計画について	2
2-1	環境基本計画の基本事項	2
2-2	安曇野市の環境の現状	2
2-3	安曇野市がめざす環境のすがた	2
2-4	望ましい環境をつくるための取り組み	2
2-5	計画の推進体制と進行管理	2
3	安曇野市環境行動計画（2018—2022）について	2
4	安曇野市環境基本計画実施計画書について	2
5	2020（令和2）年度の取り組み	3
5-1	安曇野市環境審議会	3
5-2	環境基本計画の推進	4
5-3	環境行動計画の推進	4
5-4	環境指標達成状況	3 3
5-5	参加と協働	3 4
6	その他	3 5
6-1	安曇野市環境基本計画庁内調整会議	3 5
6-2	安曇野市生物多様性アドバイザー	3 5
6-3	安曇野環境市民ネットワーク	3 5
7	参考資料	3 9

1 年次報告書について

1-1 目的

[安曇野市環境基本条例](#)（以下「条例」という）第10条に基づき、市の環境の現状や環境の保全と創造に関して行った施策について公表するものです。市の環境の現状や課題、この一年の取り組みについて市民・事業者の皆様と情報共有するとともに、その評価や反省点を今後の施策の展開につなげていくことを目的としています。

1-2 記載事項

[第2次安曇野市環境基本計画](#)（以下「基本計画」という）、環境行動計画2018-2022（以下「行動計画」という）に基づき、本市が2020（令和2）年4月1日から2021（令和3）年3月31日までの間に取り組んだ環境に関する施策の実施状況を記載しています。

なお、省エネ・省コストを考慮し、以降の記載は前述の条例・計画の参照を前提とし、基本計画で定めた環境指標の状況や、行動計画において重点的に取り組むものとして選定された全27のプログラムの経過と結果を簡潔に記載するものとします。

本書の記述についての不明な点や取り組みの詳細は、基本計画のほか、[安曇野市里山再生計画等の環境に関連する個別計画](#)及びそれらに基づく報告書を参照していただくか、各取り組みの担当課までお問い合わせください。

1-3 留意事項

本書に記載の計画等は、市ホームページ上に公開されています。初出の箇所（青字で記載）をクリックすると掲載ページへのリンクが開きますので、必要に応じてご活用ください。（インターネット上で本書を閲覧されている場合のみ）

2 第2次安曇野市環境基本計画について

2008（平成20）年に制定した[安曇野市環境宣言](#)を基本理念として、より良い安曇野の環境を実現するための行動指針となるもので、環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や環境施策の基本的な方向性などを示しています。また、本市の最上位計画である[第2次安曇野市総合計画](#)を環境面から推進する役割を担っています。

2-1 環境基本計画の基本事項

基本計画策定の背景、第1次基本計画の評価、第2次基本計画の基本的事項について記述しています。詳細は、基本計画第1章（P 1-18）を参照してください。

2-2 安曇野市の環境の現状

安曇野市の概況、自然環境、生活環境、資源循環・地球環境、参加・協働について記述しています。詳細は、基本計画第2章（P 19-56）を参照してください。

2-3 安曇野市がめざす環境のすがた

安曇野市の環境づくりに向けて、望ましい環境像・基本目標、環境指標、計画の体系について記述しています。詳細は、基本計画第3章（P 57-64）を参照してください。

2-4 望ましい環境をつくるための取り組み

取り組みの基本的な考え方、取り組みの推進（個別目標）、重点取り組みの推進について記述しています。詳細は、基本計画第4章（P 65-102）を参照してください。

2-5 計画の推進体制と進行管理

推進体制、進行管理、その他の計画推進方法について記述しています。詳細は、基本計画第5章（P 103-111）を参照してください。

3 安曇野市環境行動計画（2018-2022）について

基本計画で定めた51の重点取り組みのうち、目標を数値で把握できるものを中心に27のプログラムを抽出し、その目標達成のための具体的な進行管理の方法を示した行政計画の一つです。基本計画の前期にあたる2018年度から2022年度を計画期間としますが、各年のPDCAサイクルによる点検・評価と改善、社会情勢の変化等により、随時見直しを行います。

行動計画で選定した取り組みの実施状況は、本書6ページ以降に掲載しています。

4 安曇野市環境基本計画実施計画書について

行動計画で選定した取り組みをプログラム化し、一年間に実施する内容を具体的に示した計画書です。進行管理シートにより目標や結果、課題を管理し、見出された改善点を翌年の計画に反映します。

5 2020（令和2）年度の取り組み

本年度の取り組みを条例に基づくもの、行動計画に基づくもの、基本計画の4つの基本目標の一つである「参加と協働」に基づくものに区分し、順次記述します。

5-1 安曇野市環境審議会（条例第17条関係）

[環境審議会](#)を以下のとおり開催し、環境の保全及び創造に関する事項について審議しました。

日付	会議名称	内容
2020（令和2）年 4月21日	第1回	(1)令和2年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について (2)令和2年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について (3)第2次環境基本計画・行動計画について
7月27日	第2回	(1)視察（穂高広域施設組合 新ごみ処理施設） (2)環境基本計画 令和元年度 年次報告書について
11月5日	第3回	(1)安曇野市一般廃棄物処理基本計画について (2)安曇野市地球温暖化防止実行計画について
2021（令和3）年 1月19日	第4回 （中止）	(1)環境基本計画 令和2年度 年次報告（中間）について ※新型コロナウイルスの影響により中止
3月18日	第4回	(1)安曇野市一般廃棄物処理基本計画について (2)環境基本計画 令和2年度 年次報告書について (3)環境基本計画 令和3年度 実施計画書について

5-2 環境基本計画の推進

基本計画の基本目標4、個別目標15、主要施策47項目に基づく各種施策を展開しました。

5-2-1 重点取り組み

基本計画に定めた施策のうち、個別目標1から12にかかる51の重点取り組みについて、行動計画に選定したものを含め、各担当において取り組みを進めました。

5-3 環境行動計画の推進

基本計画に定めた51の重点取り組みのうち、環境指標に絡み、数値目標を定めて特に厳密に進行管理を行うべきものとして抽出した27のプログラムについての取り組み状況を次に示します。

○環境行動計画における重点取り組み一覧

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
環境基本計画事業	1	シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。	環境課 環境政策係
	2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	環境課 環境保全係
	3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	環境課 環境保全係
	4	管理不十分な空家などへの指導をする。	環境課 空家対策室
	5	広報などで分別の徹底を啓発する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	6	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	7	分別方法を分かりやすく説明する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	8	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	環境課 環境政策係
	9	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	環境課 環境政策係
	10	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	財産管理課 施設経営担当
	11	緑のカーテンの導入を推進する。	環境課 環境政策係
	12	住宅用太陽光発電の効果を検証する。	環境課 環境政策係

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
各分野における基本計画事業	13	薪の地産地消率向上を推進する。	耕地林務課 林務担当
	14	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	耕地林務課 林務担当
	15	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	耕地林務課 林務担当
	16	松枯れ対策事業を継続して行う。	耕地林務課 林務担当
	17	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	農政課 集落支援担当
	18	荒廃農地対策を行う。	農政課 集落支援担当/農業委員会
	19	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	農政課 生産振興担当
	20	学校における食農教育を推進する。	農政課 マーケティング担当/学校教育課 教育指導室
	21	鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。	耕地林務課 林務担当
	22	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	耕地林務課 耕地担当
	23	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	都市計画課 公園緑地係
	24	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	建築住宅課 建築景観係
	25	地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。	環境課 環境保全係
	26	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	環境課 環境保全係
27	デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	政策経営課 交通政策係	

【環境基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	自然観察会の開催 年3回 延べ参加者80人以上	・自然観察会の開催	7/11、 8/1、2/6
② [定量-1]	生物多様性アドバイザー連絡会議の開催 年1回以上	・自然保護事例の情報共有および対応結果の検討	5月、12月
③ [定量-1]	安曇野オオルリジミ保護対策会議への参加 年1回以上	・クララ苗配布イベント支援 ・会議への出席	6/27、28 3月

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	・第3回時は参加者が定員に達しかつ公平に抽選されるように、抽選方法を調整することができた。今後多くの市民に参加機会が巡るようになり参加者を決定する。
② [定量-1]	無	・各議題は会議で取り上げる必要があるが、事業主体と事前に確認する。 ・アドバイザー会議実施時及び意見提供時の事業主体への報告形式を再確認する。
③ [定量-1]	無	・今後もオオルリジミの観察会は国営アルプスあつみの公園及び日本自然保護協会の主催に委ね、市は共催・後援の立場で広報などに協力する。

環境審議会意見

- ・目標①について、大変人気があるため、定員ではなく満足度などを目標値にしようか。
- ・人気の高さに応じて回数を増やす、それが困難であれば講師を増やして一回の募集人数を増やすなどの対応をした方がよい。
- ・目標②について、アドバイザーの円滑な運営について吟味が必要である。

No. 1 シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	3回・延べ94人 100%・118%	第1回 里山の昆虫について学ぶ(黒沢洞合自然公園)、第2回 生きものをとおして秋を感じてみよう(長峰山)、第3回 きれいな川に暮らす魚類について学ぶ(高瀬川)	8/1、 10/3、 2/13
② [定量-1]	3回 実施	公共事業などの自然保護に関する助言を受けた。 ・松くい虫防除のための薬剤散布 ・松本糸魚川連絡道路ルート帯 ・国土強靱化事業など	5/11、 6/18、 12/15
③ [定量-1]	1回 参加	・記念植樹及び講演会を6月27日に、クララの苗配布を6月27、28日に実施した。 ・保護対策会議を国営公園で9月5日に実施した。コロナ対策で遠方の出席者にはリモートで対応した。	6/27、 28、3/5

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成状況	審議会の評価	成果課題
① [定量-2]	A	A	ながの電子申請サービスを利用することで、申し込み受付時の事務を大幅に軽減することができた。 ・第2回時は市民の要望を汲み募形式を抽選としたが、抽選の結果、人数が定員より大幅に少なくなった。
② [定量-1]	A	A	第1回はコロナのため書面開催とした。松本糸魚川連絡道路ルート帯について、今後のアドバイザーの関わり方を調整することができた。 ・会議の協議事項について、アドバイザー会議で取り上げるべき内容が疑わしいものが存在した。
③ [定量-1]	A	A	イベントは当日までの会場用意及び広報、当日の運営サポート等に支援した。 ・国営アルプスあつみの公園、日本自然保護協会主催事業との棲み分け

13. 情報の充実

- ・広報あつみのホームページ
- ・安曇野エコブラン.net
- ・安曇野市版レッドデータブック

14. 学ぶ・体験する

- ・自然観察会

15. 関連組織

- ・安曇野市生物多様性アドバイザー
- ・安曇野オオルリジミ保護対策会議

【環境基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

No. 2		外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	
担当：環境課 環境保全係			
2. Do(実行)			
目標	実施内容	具体的内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 新規登録者 5 人	市広報紙、公式ホームページのほか、自然観察会等の機会を利用した募集案内	6/10 (通年)
[定量-2]			
②	駆除啓発に関する広報の実施 情報提供件数 50 件	市広報紙などによる駆除啓発 ・特定外来生物リポーター通信の発行	5/20 5月・12月
[定量-2]			
③	市内道路などにおける駆除活動 駆除作業の実施	関係課のほか、安曇野建設事務所、土地改良区等と連携して駆除活動を実施	5月
[定量-1]			
3. Check(点検・評価)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	無	単に報告するだけでなく、積極的に駆除していただけたよう促す。	
[定量-2]			
②	無	ながの電子申請サービスは効率化に非常に有効であるため、各リポーターに通知をする際に積極的に利用するよう促す。	
[定量-2]			
③	無	オオキケンイギク、オオハンゴンソウの駆除に加え、オオカワヂシャの駆除についても計画的に実施する。	
[定量-1]			
環境審議会 意見		・目標①について、長野県のマニュアルもホームページからダウンロードできるため活用してほしい。 ・リポーターを増やす方法を考えてほしい。 ・目標②について、継続して実施すべきである。	
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
・広報あづみの ・市ホームページ ・啓発チラシ ・リポーター通信			

【環境基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全係

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	広報等を活用し、法律規制内容の周知 年1回以上	市民、事業場向けに「臭気指数規制」を周知する。	通年
② [定量-2]	臭気指数規制対象事業場への改善対策指導 臭気指数基準超過事業場 0事業場	臭気低減対策計画の進捗確認と臭気指数規制に基づく規制基準超過事業者ゼロにする。	通年
③ [定量-2]	公害監視員による巡回・監視 1回/週	・悪臭対象事業場の臭気状況を把握するため、巡回・監視。	通年

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	商工会、工業会を通して、直接事業場に法規制の周知が出来た。 悪臭への苦情が出ないよう、取り組んでいく。
② [定量-2]	無	環境課・農政課が連携し、畜産農家の状況確認、改善指導を行っていく。
③ [定量-2]	無	施設内における悪臭発生場所(位置)が確認できたことで、改善箇所を農家に伝えることが出来た。

環境審議会
意見
・目標②の改善対策の指導方法は、改善指示ではなく改善を促すに改めた方がよい。

No. 3 悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	3回 実施済	市民向けには市広報紙へ掲載、事業者へは市商工会・工業会を通してチラシを配布し、臭気指数規制の周知を行った。	通年
② [定量-2]	1事業場 0%	悪臭防止法に基づく臭気指数規制対策事業場に対し、改善指示を行うとともに、毎年の臭気指数測定調査を1事業場、3回(1回/月)実施した。	通年
③ [定量-2]	週2回(61日) 200%	公害監視員から提出された巡回月報報告書により、臭気発生状況、発生事業場(原因)が把握し、該当事業場への指導を実施。また、地域内の対策協議会で巡回内容を報告した。	通年

※定量-1:実績/計画 実績/計画
定量-2:実績/目標 実績/目標
A:100% B:90% C:80% D:70% E:60%
F:50% G:40% H:30% I:20% J:10% K:0%

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-1]	A	A	法規制後、市民・事業者全般に対し規制制度の周知を行った。
② [定量-2]	E	E	臭気指数超過事業場に対し、臭気測定値・改善を伝える。 超過事業場数の目標を達成できなかった。
③ [定量-2]	A	A	公害監視員が農家巡回することで、該当農家の発生場所(位置)の確認ができ、詳細な指摘が出来るようになった。

13. 情報の充実

14. 学ぶ・体験する

15. 関連組織

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 空家対策室

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	空家対策補助金の交付による利活用促進 補助金交付28件	・市広報紙等を活用し、空家対策補助金の活用率を上げる。	通年
② [定量-1]	空家相談会・講演会の開催 年2回以上	・建築士及び司法書士による空家相談会・講演会を実施し、市民等へ周知を図る。	通年
③ [定量-1]	立ち入り調査に基づく適切な指導 特定空家の認定(1件以上)	・管理不十分空家等への指導及び特定空家の除去	通年

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	国の空家対策総合支援事業の活用や空家特措法の動向に注視し、引き続き補助金の利活用促進のため、幅広くPRを行う。
② [定量-1]	無	空家対策に必要な予防保全と、空家の利活用、適正管理について、今後も継続して普及啓発活動を実施する必要がある。啓発活動を効果的に展開するため、各地域や社会福祉協議会主催のイベントなどの機会を活かしていく。
③ [定量-1]	無	管理不全空家の減少と苦情要因の早期解消が図られるよう、所有者等へ適正管理のアドバイスとともに指導を行う。影響が大きい管理不全空家は特定空家に認定を進めることで、解決困難なものは行政措置を検討する。

環境審議会
意見

・空家数の多い明科地域などに、講演会を含め市の出前講座や出張空家相談会による積極的な普及啓発活動をお願いしたい。
・多様な人材で構成される団体組織など、産・官・学、民との連携により、お互いの利益となるような取り組みを進めることが必要である。

No. 4
管理不十分な空家などへの指導をする。

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	38件 136%	本年、6月から空家対策補助金を施行。所有者向け、購入者(移住)向けの計4メニューの申請を受け。 ・片付け清掃補助 8件・貸家リフォーム補助 3件 ・空家解体補助 25件・移住リフォーム補助 2件	6月～ 3月
② [定量-1]	2回 実施済(100%)	空家予防啓発講演会と合わせ、同日に相談会を開催。講師(司法書士：予防啓発・建築士：利活用) 「講演会参加者」 豊科37名、三郷19名 「相談会参加者」 豊科9名、三郷4名	8/29 11/29
③ [定量-1]	3件 実施済(300%)	管理不全空家に対する現地確認、適正管理指導 特定空家等の解体 7件(内補助金活用 2件) 特定空家認定3件協議会審査(豊科1件、明科2件)	2/10

※定量-1:実施した件数 実施しない件数
定量-2:実施数/目標数値 ×100→100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性-1:良かった件数 悪かった件数
定性-2:良かった件数/悪かった件数 ⇒C 悪かった件数⇒E

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成状況	審議会の評価	成果課題
① [定量-2]	A	A	補助金が活用され、空家解体による環境保全や利活用による賃貸住宅の市場流通、移住による空家活用が促進された。 解体補助が補助金全体の83%を占めているため、利活用を促進し、空き家バンクの活性化と物件数の充実を図る必要がある。
② [定量-1]	A	A	豊科と三郷地域で、講演会及び相談会を開催することができた。講演会後の個別相談会では、地域外や市外からも相談に訪れた。 コロナ禍における普及啓発活動の在り方について、開催手法や内容を直し、効果的かつ効果的な方法で実施する必要がある。
③ [定量-1]	A	A	管理不全空家の苦情件数は100件を超えており、市の空家対策が認知されてきた。特定空家の解体や苦情要因の解消が図られた。 特定空家(8件)の早期解決に向けた所有者等との交渉、支援

13. 情報の充実

・広報あつみの
・市ホームページ
・空き家バンク

14. 学ぶ・体験する

・空家相談会、講演会

・安曇野暮らし支援協議会

15. 関連組織

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
No. 5		広報などで分別の徹底を啓発する。	
2. Do(実行)			
目標	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	9回 実施	広報紙(廃棄物の野外焼却の禁止、食品ロスの削減)への掲載・ホームページ(ごみの捨て方について、衣類・布類の回収中止と再開等)、分別アプリ(衣類・布類の回収中止と再開)などで周知を行った。	通年
② [定量-2]	131件 131%	購入補助金の交付 補助率：生ごみ処理機は購入費の2分の1、上限額3万円。生ごみ処理容器は購入費の3分の2、1基につき3千円。	通年
③ [定量-2]	15.0% 95%	民間回収の増加に伴い行政のリサイクル率は減少傾向だが、「資源物・ごみ出し方の手引き」を基に分別収集とリサイクル事業を周知し、資源化を推進する。 ※参考H30:16.2%、R1:15.6%	通年
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果
① [定量-1]	A	A	広報・啓発は遅滞なく実施できている。
② [定量-2]	A	A	交付確定件数は目標件数を上回った。 事業所への補助金交付件数がゼロである。
③ [定量-2]	A	A	市民に分別収集とリサイクル事業を周知した。 資源化できるものはごみとして出さないうえに周知する必要がある。
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報あつみのホームページ ・資源物・ごみ分別収集アプリ 		15. 関連組織	
4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-1]	無	継続して広報紙、ホームページ、分別アプリを活用し、分別等の啓発を行う。	
② [定量-2]	無	事業所も交付対象であることを事業者にも周知する必要がある。	
③ [定量-2]	有	民間事業者が店頭や私有地などで行う資源物回収における収集量が厳密に把握できないため、本市におけるリサイクル率の把握が難しいが、資源物が出しにくい環境を整え、官民一体となった資源回収が進むよう取り組みを進める。	
環境審議会意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目標③のリサイクル率は把握が困難だろうが、実態調査の結果等はお持ちなので、何らかの数値を参考にしたい。 ・目標③について、民間事業者の情報を全体に反映できる仕組みを検討してほしい。 ・数値も大事だが、市民に周知啓発することの方が大切。イベントの実施など、話題を呼ぶようなことを行うのもよいかもしれない。 	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
1. Plan (計画)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	事業系一般廃棄物の減量・資源化 732t/年の減	・分別、減量化、資源化等でごみを減らし ていけるよう対応と協力のお願い。 ・紙類、木くずは豊科リサイクルセンターに 搬入できることを周知する。	通年
② [定量-1]	収集運搬許可業者等との会議を開 催 年1回以上	情報収集及び共有、収集したごみ の展開検査等の実施。	6・2月
③			
4. Action (改善)			
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	ごみの排出量が多い事業者を訪問し、ごみの減量化にむけた取り組みを 進めていく。	
② [定量-1]	無	食品ロスの削減に向けた取り組みの推進。資源化できるものは資源に出 すことについてPRを進める。また、収集業者から現状を聞き、出された課題 についてどのように対応していくか検討する必要がある。	
③			
環境審議会 意見	・特になし。		

No. 6 事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。			
2. Do (実行)			
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	119t/年の減 16.30%	ホームページに「事業系ごみ減量化・適正処理の手引 き」を掲載し、紙類、木くずは豊科リサイクルセンターに 搬入できることを周知した。	通年
② [定量-1]	1回 実施済	9月にごみ質の組成調査を実施した。	9月
③			
3. Check (点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	D	D	- 事業者に対する周知活動の実施。
② [定量-1]	A	A	ごみ質組成分析調査結果では、燃えるごみの中で厨芥類や紙類 が占める割合が高くなっている。 3月25日に収集運搬許可業者との意見交換会を実施した。
③			
13. 情報の充実	・広報あづみの ・ホームページ	14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織 ・安曇野市商工会 ・安曇野市清掃事業協同組合

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当		No. 7 分別方法を分かりやすく説明する。	
2. Do(実行)			
目標	実施内容	実施結果(数値)	具体的な実施内容
[評価区分]	目標(数値目標)	[結果/目標](%)	
①	ごみ分別促進アプリの普及促進と情報の配信 利用者数2,000件/年	2,719 136%	新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、衣類・布類の回収休止、一斉清掃日の日程変更等のお知らせの通知を発信した。(R3.3月末利用件数)
[定量-2]			
②	環境フェア等における展示と出前講座の開催 年1回以上の開催	0 0%	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、環境フェアが中止となった。また、出前講座についても依頼なし。
[定量-2]			
③			
[定量-1]			
※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画ひが中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果
[評価区分]			課題
①	A	A	利用者数も微増ではあるが伸びてきている。 情報発信を進めるとともに、利用者数の増を進める。
[定量-2]			
②	E	E	なし
[定量-2]			なし
③			
[定量-1]			
4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	無	継続してアプリの周知と利用の促進を進める。また、広報あつみの、ホームページを活用した広報活動を実施していく。	
[定量-2]			
②	無	環境フェアについては開催に向けた準備を進めていく。また、出前講座については、小学4年生が行う穂高グリーンセンターへの見学・学習に合わせて、ごみの減量化について環境学習の推進に取り組む。	
[定量-2]			
③			
[定量-1]			
環境審議会意見		13. 情報の充実 ・広報あつみの ・ホームページ ・資源物・ごみ分別収集アプリ	14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
1. Plan (計画)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	エコアクション21年度末評価及び中間評価	取組結果のとりまとめ及び公表 内部監査実施 職員研修 中間評価	7月 8月 9月 11月
[定量-1]	環境活動レポートの作成		
②	エコアクション21対象施設以外の取り組み推進	中小規模事業者省エネ診断事業(長野県)等の受診を勧奨	8月
[定量-1]	省エネ診断等受診1施設		
③	地球温暖化防止実行計画及びエコアクション21環境経営マニュアルの改定	安曇野市地球温暖化防止実行計画及びエコアクション21環境経営マニュアルの改定	3月
[定量-1]	計画・マニュアルの改定		
4. Action (改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	無	指摘事項や優良事項を職員間で情報共有し、全体的なレベルアップを図っていく。	
[定量-1]			
②	無	受診施設の管理者や所管課の意見などを踏まえ、他施設への展開を検討していく。	
[定量-1]			
③	無	計画等の実効性を高めるため、PDCAサイクルによる進行管理を適切に行っていく。	
[定量-1]			
環境審議会意見		・更なる見える化の取り組みを進めてほしい。	

No. 8	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。		
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値)	具体的実施内容	期日等
[評価区分]	結果/目標(%)		
①	実施済	環境活動レポートの作成、ホームページでの公表 内部監査の実施 職員研修 中間評価の実施	8/20 8/20,21 9/1-18 12/21
[定量-1]	-		
②	実施済	受診2施設 安曇野しゃぐなげの湯、ほりで一ゆ〜四季の郷 結果報告会	10/26 2/25
[定量-1]	-		
③	実施済	素案の作成 エコアクション21環境責任者等への意見照会 策定・公表	7月 8月 3月
[定量-1]	-		
※定量1:実施した⇒A 実施しなかった⇒C 定量2:実施数/目標数×100⇒90~100%⇒A 80~95%⇒B 30~95%⇒C 10~25%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A ぶつぽなかった⇒C 悪かった⇒E			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果課題
[評価区分]			
①	A	A	内部監査、職員研修の実施により、職員的环境意識向上と環境活動レポートの認知度向上を図ることができた。
[定量-1]			内部監査等での指摘事項や優良事項の水平展開
②	A	A	指定管理施設の中でも、比較的稼働時間が長く、エネルギー使用量の多い2施設で受診
[定量-1]			受診後の効果の検証と他施設への展開
③	A	A	計画案に環境責任者等に意見を求めることで、業務と温暖化との関係を再認識する機会とすることができた。
[定量-1]			実行計画の推進とマニュアルに基づくエコアクション21の運用
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	
市ホームページ		対象外	
		エコアクション21中央事務局・地域事務局	

【環境基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境政策係

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標 (数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	環境家計簿モニターの募集 新規登録者 10世帯	広報紙、市ホームページなどでの募 集案内	12月・ 翌1月
② [定量-2]	エネルギー使用量の集計 回収数 70世帯	・半年ごとの記録票の収集 ・結果のまとめ及び広報紙、市ホー ムページへの掲載、モニターへのお 知らせ	7月・ 翌1月
③ [定量-1]	事業者向け省エネ対策の推進 講演会の開催	対策制度等の紹介	7月

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、協力者の増加と市民意識の向上を 図っていく。
② [定量-2]	無	「CO2削減コンテスト」との統合による協力者の増加と、「ながの電子申請 サービス」の利用拡大による事業実施に伴うCO2排出量の削減を目指して いく。
③ [定量-1]	無	3密の回避や、予算、事業執行に伴うCO2排出量の削減のため、参集によ らない啓発手法を検討していく(広い会場、広報・展示、オンラインなど)。

環境審議会
意見

- ・オンライン、集研修内容を内容によって使い分け、最適な方法で実施して
いてほしい。
- ・行政内でオンライン化に温度差があるので、積極的な取り組みをお願い
したい。

No. 9 地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果 (数値) [結果/目標] (%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	9世帯 90%	広報紙、市ホームページでの前年結果報告、募集案内	12/23
② [定量-2]	63世帯 90%	「CO2削減コンテスト」との統合 返信用封筒を用いた記録票(前期)の回収 翌年協力依頼とあわせての記録票(後期)の回収	6月 7月 1月
③ [定量-1]	未実施 -	新型コロナウイルス感染症を考慮し中止	-

※定量-1: 実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
 定量-2: 実施数/目標数×100⇒ 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性: 良かった⇒A 悪かった⇒C

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	冬期の暖房利用により、省エネや家計への意識が高まる時期にあ わせ、広報を行った。 登録世帯増
② [定量-2]	A	A	「CO2削減コンテスト」との統合により、昨年度よりは多くの登録者 から報告していただくことができた。 回収率の向上と事業実施に伴うCO2排出量の削減
③ [定量-1]	E	E	事業者向けに限定したものではないが、「気候変動と生物多様性」 に関するパネル展を実施 参集によらない啓発手法

13. 情報の充実

広報あつみの
市ホームページ

環境家計簿
事業者向け環境講座
安曇野環境フェア

14. 学ぶ・体験する

15. 関連組織

長野県産業環境保全協会
安曇野工業会
安曇野地球温暖化協議会

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：財産管理課 施設経営担当

No. 10 公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。

1. Plan (計画)

目標 [詳細区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	高効率照明器具の採用 照明のLED化(100%)	新築・改修物件でLED照明の採用	通年
② [定量-2]	省エネ設備の導入 トイレ機器・冷暖房機器(100%)	新築・改修物件で省エネ設備の採用	通年
③ [定量-1]	冷暖房負荷の低減 断熱性能の向上(新築100%)	断熱性能の高い建材・建具等での 熱負荷の低減	通年

2. Do (実行)

目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	4件 100%	設計において、LED照明を採用 (公園トイレ改築工事、宿泊施設照明改修工事 学習センター非常灯設備更新工事)	
② [定量-2]	4件 100%	設計において節水型便器を採用 (公園トイレ改築工事、学校便所改修工事) 設計においてヒートポンプ式EHPエアコンを採用 (福祉センターエアコン更新工事)	
③ [定量-1]	2件 100%	設計において高断熱の建材を採用 (公園トイレ改築工事)	

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100⇒ 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~79%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	設備投資費と節電のバランスを意識する。 使用状況に応じた器具の選定
② [定量-2]	無	設備投資費と節水・節電のバランスを意識する。 熱負荷計算で空調機器能力の選定
③ [定量-1]	無	設備投資費と空調費削減のバランスを意識する。

環境審議会
意見

- ・省エネの取り組みの市民への見える化のため、「省エネ認証シール」の
ようなものを作って、省エネ改修の済んだ公共施設の入り口に貼るなど
はどうか。
- ・予算が限られていることは承知しているのですが、優先順位をしっかりと決め
て、できる所、やるべき所にターゲットを絞って実施して欲しい。

3. Check (点検・評価)

目標 [詳細区分]	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [定量-2]	A	A	全ての設計でLED照明器具を採用した。 特になし。
② [定量-2]	A	A	全ての設計で省エネ設備を採用した。 特になし。
③ [定量-1]	A	A	全ての設計で高断熱性能の建材を採用した。 特になし。

13. 情報の充実

竣工パンフレット作成支援	施設見学の受入支援	14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
			対象外

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
No. 11 緑のカーテンの導入を推進する。			
2. Do(実行)			
目標	実施内容	具体的な実施内容	期日等
[評価区分] ① [定量-1]	緑のカーテン講座の実施 年1回	地球温暖化及び緑のカーテンに関する講座の開催	-
[定量-2]	市施設における緑のカーテンの実施 35施設	苗の配布による取組推進 苗の育成に関する助言	4~6月
[定量-1]	緑のカーテン写真展の実施 年1回	環境フェアでの緑のカーテン写真展の開催	12月~1月
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画し中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:見合った⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E</small>			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成※状況	審議会の評価	成果課題
[評価区分] ① [定量-1]	C	C	- 参加者の確保と次年度に向けた3密回避での実施手法
[定量-2]	A	A	実施40施設(前年度比+5) 実施施設増
[定量-1]	A	A	COOLCHOICE啓発とあわせ実施。応募17件(前年度比-4)。 応募者増
13. 情報の充実		14. 学ぶ、体験する	
広報あづみの市ホームページ 安曇野エコプラン.net	緑のカーテン講座 安曇野環境フェア		
環境審議会意見	「緑のカーテン」は良い取り組みだと思ふ。広く一般に実施してもらえよう、継続した取り組みをお願ひしたい。		
変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など		
① [定量-1]	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、効果と講座開催を周知していく。	
[定量-2]	無	市民への啓発も含め、市民利用が多い、窓が大きい、EA21対象等の条件に合致する施設を優先して勧奨していく。	
[定量-1]	無	上記(①②)により、参加者・実施施設増とあわせ、応募者増を目指す。	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係		住宅用太陽光発電の効果を検証する。	
1. Plan (計画)			
目標	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [評値区分] [定数-2]	太陽光発電システム設置への補助 補助金交付150件	1kwあたり20,000円(5kwを上限)とした補助金の交付	通年
② [評値区分] [定数-1]	新エネルギーの普及に資する制度の検討	新エネルギーの普及に資する制度の設計を行う	通年
③			
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定数-2]	交付決定128件 85%	広報紙、ホームページでの周知申請受付	通年
② [定数-1]	実施済 -	事例調査、内容・予算検討	通年
③			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成※ 状況	審議会の 評価	成果 課題
① [評値区分] [定数-2]	B	B	交付決定128件 -
② [定数-1]	C	C	他の自治体の状況を整理し、特徴的な取り組みなどをまとめ、今後の助成方針を検討した。 予算の確保に至らなかった。
③			
4. Action (改善)			
目標	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [評値区分] [定数-2]	無	②の目標とあわせ、制度の改廃を検討していく。	
② [定数-1]	有	長野県の気候危機突破方針なども考慮しつつ、本市の気候や地理的状况に相応しい制度設計を進める。	
③			
環境審議会 意見		・国や県の省エネにかかる補助、助成などを把握して、一般に周知して いってほしい。 ・環境関連情報(ごみ、省エネなど)を1枚にまとめたチラシを作るのも一案 だと思う。	14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
広報あづみの 市ホームページ		安曇野環境フェア	-

※定数-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C
定数-2:実施数/目標数×100⇒A 60~99%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	安曇野産の薪供給体制の整備推進 体制整備推進のプロジェクト会議等の開催3回以上	・プロジェクト会議の開催 ・山林所有者や事業者との供給を目的とした交流及び連携体制の検討・薪の生産・研修会等の開催	通年
② [定量-2]	薪ボイラーへの薪供給 薪の提供量 年間350m ³	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	安曇野産の薪供給体制の基盤となる、生産フィールド確保等を山林所有者の意向を踏まえ、プロジェクト等との連携体制を構築し、継続していく必要がある。
② [定量-2]	有	供給量の減。薪の供給は行われているが、需要において薪の使用量が減ってきている。使用者側へ薪使用量の拡大を促していく必要がある。
③		

環境審議会
意見

- ・目標①②について、市民に周知することが必要である。
- ・山林所有者が山林を管理することについて認識すること。山林所有者も含め、取り組みを次世代に繋げていくこと。
- ・目標②について、薪の供給先を新規開拓すること。薪の循環システムを円滑に進めること。

No. 13 薪の地産地消費向上を推進する。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	5回 166%	・里山まぎの環プロジェクト会議の開催 3回 ・プロジェクトメンバーと山林所有者で山林見学会・交流会1回を実施及び、山林所有者の意向確認1回 ・里山市における薪の展示予約販売。	通年
② [定量-2]	205m ³ 59%	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

※定量-1:実績値/A 実績値のみ/E 計画値が中止した/C
定量-2:実績数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:達成かつ/A 未達成かつ/B 未かつ/C 未かつ/D 未かつ/E

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	プロジェクト会議等の開催5回 山林所有者(薪生産フィールド所有者)の意向を踏まえた活動の展開が課題。
② [定量-2]	C	松枯れ材の薪205m ³ を供給 安定供給するための原木確保。薪の使用量の減。
③		

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称: 里山再生計画推進協議会)

山林所有者の課題にアプローチしながら、薪を必要とする市民に還元できるような、地域における薪の循環を生む仕組みをつくりたい。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 耕地林務課 林務担当

No. 14

里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標 (数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	里山木材活用プロジェクト会議の開催 年5回開催	・木材供給調整 ・安曇野材PR冊子企画会議開催 ・安曇野材の情報提供	通年
② [定量-2]	あつみの里山市の開催 参加者数300人	・安曇野材の展示・販売 ・安曇野材のPR	10月
③ [定量-2]			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果 (数値) [結果/目標] (%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	13回	・里山木材活用プロジェクト会議の開催 4回 ・安曇野材PR冊子企画会議の開催 9回 ・市内住宅見学会の開催 2回 ・市内伐採造林地見学会の開催 1回	通年
② [定量-2]	172人	あつみの里山市の開催(新型コロナウイルス完成予防対策により、事前予約による入場制限実施・体験型ブースの中止)	11月
③ [定量-2]	57%	あつみの里山市実施委員会の開催 3回	

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおりが中止した⇒C
 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	プロジェクト会議、安曇野材を使用した住宅見学会等の開催により、安曇野材の利用状況等の情報共有が図られた。広く周知を図るため、今後も継続していく必要がある。
② [定量-2]	無	第5回里山市が開催され、身近に安曇野材に触れる機会と安曇野材の利用促進が図られた。新型コロナウイルスの感染防止対策を講じたがからの開催となり、事前予約制として入場制限をかける状況となった。
③ [定量-2]		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※状況	成果課題
① [定量-2]	A	4回のプロジェクト会議、9回の安曇野材PR冊子企画会議を開催 安曇野材PR企画及びひ材の供給、需要情報の共有
② [定量-2]	C	あつみの里山市を開催し、172人の集客があった。 新型コロナウイルス感染防止対策をとり、事前予約により入場制限実施。
③ [定量-2]		

環境審議会
意見

・目標①②について、継続して実施していくこと。山林所有者との繋がりを強めること。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称: 里山再生計画推進協議会)

あつみの里山市だけではなく、インターネット販売など安曇野材が日常的に入手できるルートや仕組みを作りたい。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	里山学びの環プロジェクト会議の開催 年3回開催	プロジェクトの運営検討 「さとぶろ。学校」運営会議の開催	通年
② [定量-2]	「さとぶろ。学校」の開講 年6回 延べ受講者60人以上	「さとぶろ。学校」の開催 特別講座の開催	4月 ～ 12月
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	2回のプロジェクト会議のほか、「さとぶろ。学校」の運営会議を6回開催した。「さとぶろ。学校」終了後に他の活動団体を紹介し、ほぼ全員が体験し、加入する者も現れている。今後も継続していく必要がある。
② [定量-2]	無	第5期の「さとぶろ。学校」が開催され、7人の生徒が受講した。コロナ禍の中で、感染防止の対策を徹底し、基本カリキュラムを柱に、楽しく学べる講座を企画・運営し、継続して実施する。
③		

・目標①②について、継続して活動して欲しい。
・目標②について、「さとぶろ。学校」を卒業した人が、さらに継続して活躍できる場所を確保すること。

No. 15 里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	8回 267%	・里山学びの環プロジェクト会議の開催 2回 ・「さとぶろ。学校」運営会議の開催 6回	通年
② [定量-2]	6回・33人 100%・55%	・「さとぶろ。学校」16講開催 ・年間6回・延べ受講者数33人	4月 ～ 11月
③			

※定量-1:達成した⇒A 未達成した⇒E 計画どおり中止した⇒C
定量-2:達成数/目標数×100= 90～100%⇒A 80～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
定性:良かった⇒A ぶつかりた⇒C 悪かった⇒E

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	プロジェクト会議2回の開催 「さとぶろ。学校」カリキュラムや運営方法の検討
② [定量-2]	C	「さとぶろ。学校」16講の開催 受講生同士の交流方法の検討
③		

(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会)
推進組織等
意見
過去のさとぶろ。学校卒業生の内、現在里山活動をしていない人々へのフォローアップをしてはどうか。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 耕地林務課 林務担当

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 処理内の松枯損木数1,000本/年以下	松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・処理計画区域(三郷・堀金)	通年
② [定量-2]	薬剤散布による防除の実施 散布内の松枯損木数600本/年以下	・薬剤散布による防除 ・実施計画面積23ha/年	6月～7月
③ [定量-2]	樹幹注入による予防の実施 処理区域内松枯損木10本/年以下	・樹幹注入による予防 ・処理区域5ha	11月 ～ 3月

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	721本(72%) 138%	・松枯損木伐倒くん蒸処理の実施・伐倒くん蒸処理	通年
② [定量-2]	843本(141%) 71%	・無人ヘリ散布 18ha実施 ・有人ヘリ散布 5ha実施	6月 7月
③ [定量-2]	9本(90%) 111%	・樹幹注入による予防 松107本、薬剤574本 ・処理区域5ha	11月～3 月

※定量-1:実施した%A 実施しない%E 計画どおり止じた=C
定量-2:実施数値/目標数値×100= 90→100%A 60→89%B 30→59%C 10→29%D 0→9%E
定性:良かった=A 悪かった=B

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	年間処理本数1,000本は下回っているものの、その年により被害量の変動もあり、被害を抑制するに至っていない。費用対効果については、松くい虫被害対策協議会において検証を行っていく。
② [定量-2]	無	無人ヘリによる薬剤散布を令和3年度から廃止。薬剤散布に替わる対策として令和2年度から樹幹注入により範囲を限定して対策を実施。有人ヘリについては計画通り実施していく。
③ [定量-2]	無	樹幹注入した松の枯損は少なく、注入できていない松の枯損が進んでいる傾向があるため、早期に注入が必要。

環境審議会
意見

・目標①～③について、松くい虫対策協議会で出されている意見・報告を環境審議会に提供してほしい。
・目標②③について、薬剤空中散布の費用対効果や抜本的な効果を考慮しつつ進めてほしい。
中信地区などの他の自治体と連携して対策を進めてほしい。

No. 16 松枯れ対策事業を継続して行う。

実施内容により、区域内の松枯を各指定数量以下に収めることを目標として設定。
原則、少ない方がよい値であるため、
・上段に、目標に対する割合(結果/目標)
・下段に、定量-2評価の割合(目標/結果)を記載しています。

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	全体の伐倒くん蒸処理区域内(堀金・三郷)の枯損木の処理守るべき松林の範囲検討。希少動植物への配慮。
② [定量-2]	B	無人ヘリによる散布を18ha、有人ヘリによる散布を5ha実施守るべき松林の範囲検討。希少動植物への配慮。
③ [定量-2]	A	樹幹注入による予防 樹幹注入剤の効果期間の適正管理による継続的な実施
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:松くい虫被害対策協議会) 市民の間でも、地上散布・空中散布について意見が様々出ており、安曇野市の樹幹注入への切り替えは良い方向であると考えています。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当

No. 17 農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	認定農業者数の確保・育成 認定農業者数269人	「人・農地プラン」の策定による担い手の掘り起こし 新規就農者の確保	2月～3月
② [定量-2]	集落営農組織の設立支援 集落営農組織数27組織	集落懇談会への参加による支援	通年
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	273 101%	3月人・農地プラン検討会の開催予定。 新規就農者等への働きかけを実施。	3月下旬 通年
② [定量-2]	27 100%	新型コロナウイルス感染症の影響により集落懇談会等 見送り	-
③			

※定量-1: 実施済み⇒A 実施済み⇒E 計画どおり⇒C
定量-2: 実施数値/目標数値×100⇒90～100%⇒A 80～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E
定性的評価⇒A⇒C 定性的評価⇒B⇒C 定性的評価⇒D⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	人農地プラン検討会での掘り起こし、新規就農者への働きかけは有効のため、引き続き実施していく。
② [定量-2]	無	集落の意向を確認することが重要なため、人・農地プランの話し合いなどに参加し支援をしていく。
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	新規就農者等から新たな認定農業者8名を確保した。 高齢化による辞退者がいるため、引き続き新たな農家の確保が必要。
② [定量-2]	A	懇談会等は開催していないが、2つの集落で窓口相談に応じた。 集落営農組織の設立までには、話し合いや地域合意が必要である。
③		

環境審議会
意見

・荒廃地を抑制するため、農地取得要件である下限面積を緩和して、農地の取得が可能となるように進めることが必要。
・認定農業者へ農地を集積し、荒廃地を解消させるには限界があると捉えている。農家の高齢化により担い手も減少していることから、家庭菜園等小規模な生産者も農業生産と田園景観の基盤を守る担い手として考えていかなければならないと思う。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会)
7月開催予定

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 集落支援担当/農業委員会

No. 18 荒廃農地対策を行う。

少ない方が良い値であるため、
・上段に、目標に対する割合(結果/目標)
・下段に、定量・評価の割合(目標/結果)
を記載しています。

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	荒廃農地の解消支援 荒廃農地面積40ha	・荒廃農地の発生・解消状況に関する調査及び意向調査の実施 ・荒廃農地解消支援金(市単)の活用	通年
②			
③			

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	30.3ha(76%) 132%	・荒廃農地の発生・解消状況に関する調査を実施した。 ・補助事業の内容について、ホームページ等による周知を実施。 ・6件補助金交付。	通年
②			
③			

※定量-1:実績した⇒A 実績が10%以上⇒E 計画どおり⇒C
 定量-2:実績数量/目標数量×100% 90~100%⇒A 80~99%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	支援制度の周知等を行い、荒廃農地の解消と発生防止に努める。
②		
③		

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	荒廃農地1.5ha解消。 荒廃農地解消は、資金がかかることから交付金等がないと解消が進みにくい。
②		
③		

環境審議会
意見
・耕作放棄地を担う公社など団体組織の育成が必要と思われる。
・地域再生法の計画を活用して、農地取得要件である下限面積を緩和し、農地付き空家の取得が可能となるよう計画的に進めてもらいたい。

推進組織等
意見
(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会)
7月開催予定

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 生産振興担当

No. 19 県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	環境に配慮した安全・安心な農業講座の開設 年2回	直売所生産者や、多面的機能支払交付金事業取組地区の農業者等を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催する。	11月～3月
②			
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	0回 未実施	環境に配慮した農業に関する講座を予定したが、コロナ禍により開催できなかった。外食需要の減少により、市場価格が低落する状況があり、当局としても影響を受けた生産者を支援するための対策がメインとなった。	-
②			
③			

※定量-1:実施しない⇒A 実施しなかった⇒C
 ※定量-2:達成数/目標数×100=80～100%⇒A 60～80%⇒B 30～50%⇒C 10～20%⇒D 0～5%⇒E
 ※定性:良かつた⇒A 多少かつた⇒C 悪かつた⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	コロナ禍において、従来の人を集めて講座等を開催することが難しい状況であるため、今後のありかたを検討したい。
②		
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	C	直売所生産者を対象に環境に配慮した農業に関する講座を開催する予定であったが、コロナ禍において開催することができなかった。 コロナ禍において、人を集めて開催することが難しい状況がある。
②		
③		

環境審議会
意見

・特になし

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称: 農業・農村振興計画推進委員会)

7月開催予定

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課マーケティング担当・学校教育課 教育指導室

No. 20 学校における食農教育を推進する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	食農教育(教育ファーム)の推進 小中学校16校(年間)	小中学校での農業体験を実施すること で、「食」の根本である農業に関する知 識を身につけ、食への感謝の心を育む 食農教育を推進する。	通年
②			
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	17校 106%	学校ごとに、米作り、野菜栽培、調理実習など食と農に 関わる取り組みが行われている。	通年
②			
③			

※定率-1: 実施した⇒A 実施しない⇒E 計画した中未実行⇒C
 定率-2: 実施数/目標数×100=90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定率-3: 実施した⇒A 実施しない⇒E 計画した中未実行⇒C

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	農業体験を通じて、子供たちの農や食に対する興味・関心が深まっている ため、現在の取り組みを維持していく。
②		
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	全ての小中学校で実施しており、食と農の大切さを知り感謝の心を育む教育 とが実践されている。 コロナの影響で、収穫祭や生産者との交流の機会が減少。
②		
③		

環境審議会
意見

・栄養士などのアドバイスを得ながら、栄養バランスの取れた食生活改善
への取り組みも並行して進めてもらいたい。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称: 農業・農村振興計画推進委員会)

7月開催予定

【各分野における基本計画事業】				
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート				
担当： 耕地林務課 林務担当				
No. 21 鳥獣被害防止計画を策定（見直し）し、実施する。				
<p>少ない方がよい値であるため、 ・上段に、目標に対する割合（結果/目標） ・下段に、定量→評価の割合（目標/結果） を記載しています。</p>				
2. Do (実行)				
目標 [評価区分]	実施内容 目標（数値目標）	具体的な実施内容	期日等	
① [定量-2]	農作物鳥獣被害対策支援 農作物被害金額7,480千円	<ul style="list-style-type: none"> 安曇野市野生鳥獣被害防止対策補助金の活用 地域に適した対策の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業のホームページ等による周知を実施 勉強会（出前講座）の開催 大規模なサルの追払いの実施 サル用大型捕獲檻の導入 	通年 8/22 11月 3月
② [定量-2]	有害鳥獣捕獲推進 大型獣捕獲計画数計170頭	<ul style="list-style-type: none"> 狩猟免許の取得支援 捕獲技術の高度化支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規狩猟者 銃2名 わな1名 に支援 有害鳥獣駆除、個体数調整によるシカ86頭、イノシシ1頭の捕獲を実施 	3月末 通年
③				
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画中止⇒D 定量-2:実施数/目標数×100⇒A 60～99⇒B 30～59⇒C 10～29⇒D 0～9⇒E 定性:良かった⇒A ぶつかった⇒C 悪かった⇒E</small>				
3. Check (点検・評価)				
目標 [評価区分]	達成状況	成果 課題		
① [定量-2]	A	鳥獣対策の窓口を統一した。 有害鳥獣対策は、駆除と防除、複合的な対策が必要であり、根気強く継続実施することが必要。		
② [定量-2]	C	農業被害をもたらすニホンジカの個体数調整を実施した。 豚コレラによりイノシシの個体数が減少している。		
③				
推進組織等 意見		(主)な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会) 7月開催予定		
4. Action (改善)				
目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など		
① [定量-2]	無	引き続き、農家個人による自己対策を推進するとともに、地域と連携した広域対策も検討していく。		
② [定量-2]	無	大型獣の捕獲を引き続き実施しの農林業被害を軽減していく。		
③				
環境審議会 意見		・継続して実施してほしい。		

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 耕地担当

No. 22

多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	取組組織の広域化を進める 堀金広域組織の発足	農業用水路や農道等の草刈り、泥上げ、砂利道の作業や補修等を支える組織の広域化を図る。	6月
② [定量-2]	田園風景の保全のため、取組面積の増加を図る 事業取組面積 3520ha	遊休荒廃農地解消の取組みや、水路や農道敷の草刈り作業により、安曇野の田園風景の保全を図る。	5月～11月
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	堀金地域広域化 100%	堀金地域のうち堀、田尻、中堀、上堀、小田多井の5活動組織が広域協定を締結した。	5月27日
② [定量-2]	3569ha 101%	目標値3,520haに対して3,569haの実績値となった。	6月
③			

※定量-1:実績値/A 実績値/E 計画値が中止した=C
 定量-2:実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	活動組織役員の高齢化とともに広域化による事務軽減への関心が高まっている。次期(令和6年から)の5年間に向け、広域組織への加入を進める。
② [定量-2]	無	下押野地区の新規取組等により、面積が増加した。今後とも面積増を図る。
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	市内57組織のうち堀金5組織が追加され42組織が広域化した。 活動組織の事務軽減内容を検討し、事業に取組みやすくする。
② [定量-2]	A	新規地区や既存組織の取組面積拡大により取組面積が増加した。 普及啓発活動を進め、田園風景の保全をはかる
③		

環境審議会
意見

・特になし

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会)

7月開催予定

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：都市計画課 公園緑地係

No. 23 緑の恵みを感じることができる講座を開催する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定数-2]	緑の恵みを感じることができる講座 開催 4回・40人/年	①花壇づくり講座 ②栽培講習会 ③黒沢洞合自然公園自然観察会 ④ハンギングバスケットづくり講座	①6月 ②7月 ③7月 ④11月
②			
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定数-2]	3回・37人/年 75%・93%	①花壇づくり講座(コミュニティガーデン講座) ②秋の樹木鑑賞ツアー ③ハンギングバスケットづくり講座	①11月 ②10月 ③12月
②			
③			

※定数-1:実施した⇒A 実施しなかった⇒E 計画が中止した⇒C
 定数-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定数-2]	無	講座参加者からの評判も良く、緑化意識の高揚に寄与できている。次年度も各種講座を開催し、さらなる緑化意識の高揚に繋げる。
②		
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定数-2]	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時期・参加人数を変更しての開催となり、また栽培講習会は1月に計画したが中止とした。 新型コロナウイルス感染症対策による会場・参加人数等を考慮しての開催が必要。
②		
③		

環境審議会
意見

・緑化の設置場所によっては、見通しが悪くなるなど、交通事故の要因になることもあるため、緑化を推進する場所に配慮すること。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：(仮称)みどりのまちづくり推進会議)
今後設立検討予定

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：建築住宅課 建築景観係

No. 24 景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	景観づくり講座の開催 年3回	景観条例、屋外広告物条例の周知に伴う講座の開催	通年
② [定量-1]	屋外広告物定期パトロール 年24回	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行う。	毎月2回
③			

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	2回 66%	景観づくりに関する講座を2回開催した。	通年
② [定量-1]	25回 104%	屋外広告物の定期パトロールを行い、未申請案件の把握と適正な指導を行った。	毎月2回
③			

※定量-1:実施した→A 数値が100%以上→E
定量-2:実施回数/目標回数×100= 90~100%→A 80~89%→B 30~59%→C 10~29%→D 0~9%→E
定性:長かった→A ぶつ切った→C 遅かった→E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	景観形成住民協定等の団体に対して講座の活用を働きかける。
② [定量-1]	無	
③		

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	B	景観づくりに関する講座を2回開催した。(景観1回、屋外広告物1回)
② [定量-1]	A	計画どおりパトロールを実施し、状況把握及び指導を行うことができた。
③		

環境審議会
意見

・特になし

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称:景観審議会)

特になし

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全係

No. 25 地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	地下水講座等の開催 参加者延200人以上	出前授業(児童・生徒等)・出前講座(区・企業等)及び市民参加体験プログラムの実施	通年
② [定量-2]	人為的な地下水涵養 120万m ³ /年	水資源対策協議会における涵養施策の検討	通年
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	124人(4回) 62%	6/10 豊科北小学校出前授業 29人 11/14 市民出前講座 10人 11/25 市民出前講座 25人 12/4 環カフェ発表 豊科北小学校27人、参加者33人	通年
② [定量-2]	114.4万m ³ /年 95%	人為的な地下水涵養施策に向けて、他の課と協力し取り組んだ。新規涵養米(飼料)作付面積107.7ha ※うち対象面積(429以降の面積)7.7ha 面積(7.7ha)×涵養高(0.0275m/日)×水田湛水日数(90日) 水田機能維持・地方増進推進事業：対象面積7.8ha×涵養高(0.275m×日)×水田湛水日数(44.1日)=95.3万m ³	通年
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	出前授業・講座の周知については、引き続き実施していき、新たな手法を検討していく。(効果的に周知ができる場面でのPRなど)
② [定量-2]	有	引き続き、人為的な地下水涵養施策を研究、検討していく。
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	B	コロナ禍であったが、出来る範囲で出前授業・講座を実施することができた。
② [定量-2]	A	目標には達しなかったが、95%の達成率となった。水田機能維持・地方増進推進事業は富農目的に次ぐ副次的効果によるもの。
③		

環境審議会
意見

・継続して実施してほしい。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：水資源対策協議会)

効果的な人為的涵養施策の検討を行って欲しい。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：環境課 環境保全係

No. 26 雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	雨水貯留槽施設設置補助 12基/年	水の節水を目的に、市民向けへ施設設置補助の周知及び設置数の増を進める。	通年
②			
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	13基 108%	雨水貯留槽施設及び補助金の活用を促すため、市広報紙、市内資機材店舗内にPRチラシを置いてPRしている。	
②			
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	新しい周知方法を検討しながら、市広報紙・店頭チラシを進め、利用者へ周知をしていきたい。
②		
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	年度目標基数を達成することができた。 現在、市広報紙、店頭チラシとなっている、その他新しい周知方法を検討していく。
②		
③		

環境審議会
意見
・継続して実施してほしい。

推進組織等
意見
特になし

(主な推進組織の名称:水資源対策協議会)

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：政策経営課 交通政策係

No. 27 デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 デマンド交通利用者88,000人/年	・あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 ・地域公共交通網形成計画中間評価による達成状況の評価	通年
② [定量-1]	利便性の向上に向けた検討及び市民ニーズ調査 ・協議会部会での会議年2回 ・聞き取り調査年1回	・あづみん、定時定路線利用者へのニーズ聞きとり ・部会で利便性向上に向けた検討会議の実施	通年
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	75,970人 86%	・あづみんの運行 ・地域公共交通網形成計画中間評価による達成状況の評価	通年
② [定量-1]	部会3回 聞き取り調査3回 部会150% 聞き取り調査300%	・あづみんや免許返納に係る意識調査、あづみん、定時定路線の利用者に対するアンケートの実施 ・アンケート等を元に部会にて検討会議の実施	通年
③			

※定量-1:実施した回数 実施しない回数 計画が中止した回数
 ※定量-2:実施数値/目標数値×100=90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~89%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性的:良かった⇒A 悪かった⇒B 悪かった⇒C 悪かった⇒E

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	コロナ対策のため、乗車人数制限を実施した期間があるため、利用人数が減少した。
② [定量-1]	有	市民ニーズと乖離した部分が見受けられるので改善に向け検討を進める。
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用人数減少
② [定量-1]	A	現状のニーズを把握できた。 限られた条件の中で、どれだけニーズに近い運行体制を実施できるか。
③		

環境審議会
意見

・地域公共交通の原点を確認して、ゼロエミッションを含めて検討を進めてほしい。
 ・将来を見据えた取り組みにより、時代に取り残されないよう進めてほしい。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称:地域公共交通協議会)
 5月実施時意見なし

5-4 環境指標達成状況（基本計画 P 62-63）

環境基本計画で定めた環境指標の達成状況を下表に示します。

個別目標	環境指標	基準年 (2016年度)	策定年 (2017年度)	第1年次 (2018年度)	第2年次 (2019年度)	第3年次 (2020年度)	第4年次 (2021年度)	第5年次 (2022年度)	目標 (2022年度)
1 山岳地をまもる	山岳に関するイベントの参加者数 (登山マナーの普及啓発を含む)	3,800 人/年	4,000 人/年	3,000 人/年	3,500 人/年	0 人/年			4,500 人/年
		84.4%	88.9%	66.7%	77.8%	0.0%			100.0%
2 里山をまもる	安曇野材の年間利用実績	150 m/年	154 m/年	113 m/年	160 m/年				220 m/年
		68.2%	70.0%	51.4%	72.7%				100.0%
	里山学校の年間受講者数（延べ）	105 人/年	283 人/年	352 人/年	101 人/年	33 人/年			150 人/年
		70.0%	188.7%	234.7%	67.3%	22.0%			100.0%
3 里地をまもる	認定農業者数	267 経営体	273 経営体	281 経営体	283 経営体	273 経営体			270 経営体
		98.9%	101.1%	104.1%	104.8%	101.1%			100.0%
	集落営農組織数	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織			28 組織
		96.4%	96.4%	96.4%	96.4%	96.4%			100.0%
4 川や水辺をまもる	多面的機能支援交付金事業活動組織数	51 組織	54 組織	57 組織	56 組織	57 組織			61 組織 注1)
		83.6%	88.5%	93.4%	91.8%	93.4%			100.0%
5 生きものをまもる	「生きもの調査」の実施		-	1 回/5年	-	-			1 回/5年
			#VALUE!	100.0%	#VALUE!	#VALUE!			100.0%
	特定外来種駆除活動の参加者数	7,790 人/年	7,228 人/年	6,923 人/年	7,194 人/年	3,054 人/年			8,000 人/年
		97.4%	90.4%	86.5%	89.9%	38.2%			100.0%
6 身近な自然とふれあう	1人当たり都市公園、その他公園の面積（国営・県営公園を除く）	7.9 m/人	7.9 m/人	7.9 m/人	7.9 m/人	7.9 m/人			9.2 m/人 注2)
		85.9%	85.9%	85.9%	85.9%	85.9%			100.0%
	緑の恵みを感じることができる講座の開催	2 回/年	4 回/年	4 回/年	4 回/年	3 回/年			4 回/年
		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%			100.0%
7 景観や歴史・文化を大切に	景観づくり講座開催回数	0 回/年	1 回/年	1 回/年	0 回/年	2 回/年			5 回/年
		0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%			100.0%
8 豊富できれいな水の環境をまもる	上水道普及率	99.0%	99.0%	99.1%	99.8%	99.2%			100.0% 注2)
		99.0%	99.0%	99.1%	99.8%	99.2%			100.0%
	水洗化率	81.9%	84.0%	84.6%	85.3%	86.3%			88.9%
		92.1%	94.5%	95.2%	96.0%	97.1%			100.0%
	人為的な地下水涵養農地面積（地力増進事業）	100.2 ha	112.8 ha	113.1 ha	116.0 ha	107.7 ha			150.0 ha
		66.8%	75.2%	75.4%	77.3%	71.8%			100.0%
9 きれいな空気と静かな環境をまもる	窒素酸化物・ダイオキシン類濃度測定値	基準値以下 注3)	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下			基準値以下 注3)
		-	-	-	-	-			-
	自動車交通騒音測定値基準値超過地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点			0 地点
		-	-	-	-	-			-
10 公害・化学物質などの問題をなくす	苦情件数	265 件/年	254 件/年	179 件/年	143 件/年	97 件/年			220 件/年
		120.5%	115.5%	81.4%	65.0%	44.1%			100.0%
11 ごみを少なくする	市民1日1人当たりのごみ排出量	787 g/人・年	785 g/人・年	796 g/人・年	790 g/人・年	801 g/人・年			736 g/人・年
		106.9%	106.7%	108.2%	107.3%	108.8%			100.0%
	資源物排出量	3,354 t/年	2,995 t/年	2,793 t/年	2,648 t/年	2,585 t/年			3,142 t/年
		106.7%	95.3%	88.9%	84.3%	82.3%			100.0%
	事業系可燃ごみ排出量	10,859 t/年	11,088 t/年	11,162 t/年	11,549 t/年	11,427 t/年			10,639 t/年
		102.1%	104.2%	104.9%	108.6%	107.4%			100.0%
12 地球温暖化に対応する	安曇野地域の温室効果ガス排出量 ^{注4)}	77.3 万t-CO2/年	77.8 万t-CO2/年	70.5 万t-CO2/年	2022年に推計	2023年に推計			71.5 万t-CO2/年 注5)
		108.1%	108.8%	98.6%	#VALUE!	#VALUE!			100.0%
	2015（平成27）年度基準年に対する市の事務事業における温室効果ガス削減率	-14.69%	-9.44%	-15.64%	-18.06%	2021年度に推計			-4.90% 注5)
		299.6%	192.7%	319.2%	368.6%	#VALUE!			100.0%
	「あづみん」（テマド交通）の利用者数	85,365 人/年	85,123 人/年	86,273 人/年	86,681 人/年	75,970 人/年			88,000 人/年
		97.0%	96.7%	98.0%	98.5%	86.3%			100.0%
13 環境情報を充実させる	安曇野エコプラン.netアクセス数	-	1,030 件/年	2,080 件/年	3,772 件/年	2,297 件/年			3,500 件/年
		-	29.4%	59.4%	107.8%	65.6%			100.0%
14 環境について学ぶ体験する	安曇野市環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供数	24 件/年	24 件/年	24 件/年	24 件/年	23 件/年			30 件/年
		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	76.7%			100.0%
	安曇野環境フェア来場者数	1,900 人/年	1,700 人/年	1,800 人/年	台風により中止	新型コロナウイルスの影響により中止			2,100 人/年
		90.5%	81.0%	85.7%	#VALUE!	#VALUE!			100.0%
	信州型自然保育 ^{注6)} を受ける児童の割合	52.0 %/年	53.9 %/年	54.4 %/年	57.9 %/年	58.9 %/年			54.0 %/年
		96.3%	99.8%	100.7%	107.2%	109.1%			100.0%
	行動計画に基づき環境学習の開催数	9 回/年	10 回/年	10 回/年	12 回/年	3 回/年			10 回/年
		90.0%	100.0%	100.0%	120.0%	30.0%			100.0%
15 環境保全活動を活発にする	環境美化活動団体数（累計）	217 団体/年	215 団体/年	307 団体/年	346 団体/年	358 団体/年			277 団体/年
		78.3%	77.6%	110.8%	124.9%	129.2%			100.0%
	環境美化活動参加者数（累計）	34,187 人/年	31,894 人/年	42,538 人/年	42,422 人/年	35,008 人/年			36,000 人/年
		95.0%	88.6%	118.2%	117.8%	97.2%			100.0%

注1) 個別計画の2021年度目標値

注2) 個別計画の2026年度目標値

注3) 窒素酸化物濃度基準値：0.04～0.06ppm範囲内又はそれ以下（日平均値）

ダイオキシン類濃度基準値：0.6pg-TEQ/m³以下（年平均値）

注4) 都道府県別エネルギー消費統計の推計方法変更等に伴い、過年度分に遡って修正。今後推計方法の変更により、基準・目標年度の値も含め修正する可能性がある。

注5) 個別計画の2020年度目標値

注6) 「信州型自然保育」の詳細は、第2次安曇野市環境基本計画97ページのコラムを参照。

5-5 参加と協働

基本計画に定めた施策のうち、個別目標13から15にかかる施策について、各担当が取り組みを進めました。ここでは、環境情報の充実や環境学習の推進、環境保全活動の活発のために環境課が行った取り組みのうち、参加と協働という視点で特徴的だった事業についてのみ記述します。

(1) 安曇野環境フェア2020 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

【開催概要】

- ア) コンセプト 豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐまちをつくろう！
- イ) テーマ あづみ野に生きるものたち
- ウ) 主催 安曇野市、安曇野環境フェア 2020 実行委員会
- エ) 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- オ) 日時 10月10日(土) 9時30分～16時、11日(日) 9時～16時
- カ) 会場 安曇野市堀金総合体育館(安曇野市堀金烏川 2662)
- キ) 来場者数 1日目：__人 2日目：__人 計__人(※中止)

(2) あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展

【開催概要】

- ア) 内容 長峰山の昆虫や植物等を紹介する映像上映、環境フェアの歴史などに関するパネルの展示、環境活動を推進している団体の紹介、緑のカーテン写真展など
- イ) 主催 安曇野市、安曇野環境フェア 2020 実行委員会
- ウ) 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- エ) 期間・場所 12月1日(火)～12月15日(火)
三郷交流学習センター「ゆりのき」展示ギャラリー
12月17日(木)～1月10日(日)
穂高交流学習センター「みらい」展示ギャラリー
1月12日(火)～1月24日(日)
安曇野市役所本庁舎ロビー

6 その他

6-1 安曇野市環境基本計画庁内調整会議（安曇野市環境基本計画庁内調整会議設置要綱）

環境基本計画庁内調整会議において、基本計画及び行動計画の進捗状況の確認と課題の検討を行うとともに、各種施策の調整を行いました。また、実施計画書及び年次報告書の原案や、これまでの取り組みの点検・評価の結果、関連計画の改定を踏まえて行動計画の改訂案を作成し、審議会への報告を行いました。

6-2 安曇野市生物多様性アドバイザー（安曇野市生物多様性アドバイザー設置要綱）

安曇野市の豊かな自然環境や動植物種の多様性を将来にわたり維持していくことを目的に、安曇野市版レッドデータブック等で著された希少生物の保護及び重要な自然環境の保全等に関し、専門家の意見を聴くため、新型コロナウイルス感染症対策の書面開催を含めて連絡会議を3回開催したほか、必要に応じて意見照会を行いました。

6-3 安曇野環境市民ネットワーク

6-3-1 概要と事業内容

安曇野環境市民ネットワーク（以下「ネットワーク」という）は、市内または各地域において環境保全のための活動を行っている団体や個人が集まり、協働や連絡・調整を行うことによって、より良い安曇野の環境を創出することを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発の4つです。

令和2年度の組織体制及び事業内容は次のとおりです。

（1）組織体制

- 1) 会員構成 : 28団体、3個人
- 2) 役員構成 : 座長 1人、副座長 1人、運営委員 11人、会計 1人、監事 1人
- 3) 事務局 : 安曇野市 市民生活部 環境課

（2）事業内容

- 1) 主催事業
- 1) -①運営委員会、総会、環境講座「環カフェ」

日付	会議等名称	内容
2020(令和2)年 4月25日	第1回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテン広げよう講座」 ・講師等：NPO法人あづみ野風土舎の皆様 ・オーシャンブルーの苗配布時に説明
12月4日	第2回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「安曇野市の地下水はどこから来て、どのように湧き出すのか。その現況と保全の取り組みについて」 ・講師等：①安曇野市環境課職員 ②豊科北小学校6年1組の児童の皆さん ・参加者：33人
2021(令和3)年 1月28日	運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度総会について
3月10日	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告及び収支決算 ・令和3年度事業計画及び収支予算

1) -②環境学習プログラムの推進事業

『安曇野環境市民ネットワーク 団体活動紹介・環境学習プログラム』パンフレットを作成・配布しました。計1,000部を印刷して、市内小・中学校及び市内公民館（中央・分館）などへ配布・設置しました。

1) -③登録団体間の情報交換及び情報発信事業

登録団体の開催するイベントや環境関連の様々な情報について、メーリングリスト（5回）やニュースレター（安曇野環境市民ネットワーク通信 1回）、Webページ「[安曇野エコプラン.net](http://anadonoeco.com)」（5回）上での情報発信などを行いました。

また、主催・共催事業の開催にあたっては広報紙で周知したほか、必要に応じてチラシを作成し、公共施設及び市内小・中学校等に配布しました。

2) 共催事業

2) -①安曇野環境フェア2020（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

- ア) 安曇野環境フェア実行委員として協力
- イ) 出展・発表

3) 後援事業

3) -①ネットワーク登録団体等の関連イベントの後援及び情報発信

ネットワーク登録団体の関連イベントについて後援を行ったほか、メーリングリスト、Webページ「[安曇野エコプラン.net](http://anadonoeco.com)」上での情報発信を行いました。

4) 協力事業

4) -① 学校や市民団体等からの講師依頼対応（環境学習資源の有効活用に係わるコーデ

イネイト)

自然観察講座、アルプスあづみの公園管理センターが主催する「さとやま楽校」の一部講座について、ネットワーク加入団体が講師を務め、地域の学生や住民への環境学習推進にご尽力いただきました。加えて、「特定外来生物オオカワヂシャ駆除プロジェクト」にご参加いただきました。

2020（令和2）年度 明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」
（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

2020（令和2）年度 さとやま楽校

日付	内容	主催/講師等
2020（令和2）年 6月6日、20日、 7月19日、 8月8日、 9月5日、13日、 10月4日、18日、 25日	やまこの教室「幼虫観察」ほか6回 参加者：延べ168人	国営アルプスあづみの公園/やまこの学校
6月2日、 8月1日、 9月12日	田んぼの教室「農作業」ほか3回 参加者：延べ89人	国営アルプスあづみの公園/みのむしの会/コープながの/岩原の自然と文化を守り育てる会
7月12日、 8月2日、 9月6日	里山いきもの教室 「昆虫のスケッチ」ほか2回 参加者：延べ17人	国営アルプスあづみの公園/三郷昆虫クラブ/信州生物多様性ネットきずな
2021（令和3）年 2月3日、17日、 3月31日	案内人の教室「ガイダンス」ほか2回 参加者：延べ19人	国営アルプスあづみの公園/NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団/安曇野案内人倶楽部

特定外来生物オオカワヂシャ駆除プロジェクト

【開催概要】

- ア) 内容 オオカワヂシャを950kg駆除しました。
- イ) 主催 安曇野市
- ウ) 日時 9月14日（月） 午前9時～正午
- エ) 場所 安曇野わさび田湧水群公園（憩いの池）
- オ) 参加者 14人

4) -②安曇野市環境審議会、環境基本計画庁内調整会議との連携・協力

安曇野市環境基本計画・環境行動計画との連携、協力として、安曇野市版環境家計簿、特定外来生物リポーター事業等へ参加しました。

また、審議会にネットワーク加入団体の年度内活動状況について報告しました。

5) 参加団体による活動

ネットワーク登録団体間や環境審議会との情報共有を目的として活動状況アンケートを実施したところ、全28団体のうち12団体より回答がありました。

また、複数の団体から、令和2年度は新型コロナウイルスの感染症の影響でイベント開催できなかった旨の連絡をいただきました。

なお、アンケート結果の詳細を参考資料として次ページ以降に示します。

7 参考資料

■令和2年度 安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果

ネットワーク登録団体間や、環境審議会との情報共有を目的として、登録団体の令和2年度における活動状況についてアンケートを依頼したところ、全28団体のうち、12団体より回答いただきました。（アンケート実施期間：2021（令和3）年1月4日～2月4日）

○報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
全般	安曇野市消費者の会
地球温暖化	安曇野地球温暖化協議会
環境	アルプスあづみの公園管理センター
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	潮沢ロマンの会
環境	NPO法人 あづみ野風土舎
景観、農林	NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
自然、環境	NPO法人 信州ツキノワグマ研究会
自然、環境	烏川溪谷緑地市民会議
自然、生活	生活協同組合コープながの
自然、景観	特定非営利活動法人 森倶楽部21
自然	野生生物資料情報室

(50音順)

アンケート回答がありました団体の年間活動記録について以下に掲載します。

団体名	安曇野市消費者の会
記入者名	会長 平田 米子

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5、6月 9、10月	豆腐作り	加工センター	各 18 人
7、8月	シソジュース、トマトソース作り	加工センター	各 20 人
9月14日	オオカワヂシャ駆除 参加	水辺公園	1 人
11、12月	福神漬、コンニャク、リンゴジュース作り	加工センター	各 23 人
12月1日 ～1月24日	あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展 参加	三郷、穂高交流学習センター、本庁舎	
2月16日 ～20日	味噌作り	加工センター	25 人

団体名	安曇野地球温暖化協議会
記入者名	樋口 嘉一

講演・講座・イベント等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
7月	長野県地球温暖化防止活動推進員有志と事務局にて「信州版夏の省エネガイドブック」を作成、長野県地球温暖化防止活動推進センターHPに掲載(コロナ禍でWEB会議で策定)	WEB 会議	12 人 事務局
8月21日	松本地域本年度の新規採用県職員に対する研修会(その中で地球温暖化が一つのテーマ)	松本地域振興局庁舎講堂	28 人 事務局 他 5 人
9月12日	安曇野工業会後継者育成のための経営塾 当日のテーマ SDGs	ビレッジ安曇野	6 人
9月27日	国営アルプスあづみの公園 あづみの学校にて「SDGs ってナニ?～その取り組み～そして地球温暖化」を講演	国営アルプスあづみの公園	30 人
10月22日	市内企業のSDGs活動実践指導会	市内企業	5 人
11月	長野県地球温暖化防止活動推進員有志と事務局にて「信州版冬の省エネガイドブック」を作成、長野県地球温暖化防止活動推進センターHPに掲載	WEB 会議	12 人 事務局

11月11～22日 11月29日 ～12月13日	「安曇野市市民活動フェスタ」に出展	安曇野市本庁舎、中央図書館	
12月1～15日 12月17日 ～1月10日 1月12日 ～24日	「あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展」に出展	三郷、穂高交流学習センター、本庁舎	
2月予定	長野県地球温暖化防止活動推進員有志と事務局にて「[信州版]省エネガイドブック(夏冬統合版)」を作成、関係先に配布と長野県地球温暖化防止活動推進センターHPに掲載予定	WEB会議	12人 事務局

交流・会議・活動等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
9月14日	特定外来生物「オオカワジシヤの駆除」に参加	安曇野わさび田湧水群公園	20人
7月29日 11月5日 3月18日 (予定)	安曇野市環境審議会に出席	安曇野市本庁舎他	15人 事務局
12月24日	地球温暖化防止について「広報あづみの」に掲載の会議	安曇野市本庁舎	4人
11月26日	「長野県版エシカル消費公開講座」に参加	WEB講座	
1月23日 (予定)	環境カレッジ交流会	WEB会議	
1月28日 (予定)	安曇野環境市民ネットワーク運営委員会	安曇野市本庁舎	

研修・研鑽等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
10月2日	長野県地球温暖化防止活動推進員研修会、パネル展「気候変動と生物多様性を考えよう」に出席	長野県地球温暖化防止活動推進センター	
12月16日	「2050 ゼロカーボン社会の実現に向けて及び冬の省エネについて」推進員オンライン研修会に出席	WEB会議	20人 事務局
4～3月	地球温暖化防止コミュニケーター資格更新	WEB等	

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：国営アルプスあづみの公園 あづみの学校にて「SDGsってナニ？～その取り組み～そして地球温暖化」を講演

理由：市民や関係者に「SDGsと安曇野市・あづみの公園の取り組みそして地球温暖化」について確認して頂いた。
参加者からは分かり易かったとの感想があった。

団体名	アルプスあづみの公園管理センター
記入者名	市民協働係 須之部 大

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月6日(土) 7日(日)	木のぴっかぴか「オオルリシジミペンダントづくり」	あづみの公園	17人
6月6日(土)	やまこの教室第4回「幼虫観察」	あづみの公園	22人
6月6日(土) 7日(日) 14日(土) 27日(土)	わくわく自然観察会「オオルリシジミに会いに行こう」	あづみの公園	39人
6月20日(土) 27日(土) 7月4日(土)	田んぼの教室第2回「草取り」	あづみの公園	19人
6月20日(土)	やまこの教室第5回「幼虫飼育・切りかえし」	あづみの公園	21人
7月5日(日)	やまこの教室第6回「収穫」	あづみの公園	18人
7月12日(日)	里山いきもの教室第3回「昆虫のスケッチ」	あづみの公園	7人
8月1日(土)	田んぼの教室第3回「田んぼの生物調査」	あづみの公園	30人
8月2日(日)	里山いきもの教室第3回「うんちやお肉が好きな虫の観察」	あづみの公園	4人
8月8日(土)	やまこの教室第7回「夜の里山観察&やまこ羽化観察」	あづみの公園	38人
8月16日(日)	森カフェ・夏	あづみの公園	16人
9月5日(土) 13日(日)	やまこの学校第8回「コサージュ作り」	あづみの公園	25人
9月6日(日)	里山いきもの教室第5回「まとめ」	あづみの公園	6人
9月12日(土)	田んぼの教室第4回「稲刈り&はぜ掛け」	あづみの公園	40人
9月12日(土)	秋の鳴く虫探し(ナイトウォーク)	あづみの公園	18人
9月19日(土)	魅惑のゲンゴロウ探し	あづみの公園	17人
9月19日(土)	おサルと栗拾い対決	あづみの公園	19人

9月22日 (火・祝)	森カフェ・秋「山栗拾い」	あづみの公園	15人
9月27日(日)	SDGsってナニ?	あづみの公園	10人
10月3日(土)	食草クララ植栽イベント	あづみの公園	18人
10月4日(日)	やまこの学校第9回「糸作り体験」	あづみの公園	16人
10月4日(日)	やまこの学校「糸作りワークショップ」	あづみの公園	9人
10月11日(日)	理科教室「樹名板を作ろう」	あづみの公園	11人
10月17日(土)	馬耕実演	あづみの公園	5人
10月18日(日) 25日(日)	やまこの学校第10回「織り体験」	あづみの公園	19人
2月3日(水) 17日(水) 3月3日(水) 17日(水) 31日(水)	案内人の教室第1～5回(予定)	あづみの公園	
2月16日(火) ～3月16日(火)	公園で見てみたい!「虫写真」総選挙	あづみの公園 HP	
2月22日(月)	プロジェクト・ワイルド一般指導者講習会(予定)	あづみの公園	
2月28日(日)	動物のうんちを作ろう!(予定)	あづみの公園	
3月6日(土)	オオルリシジミ生息地の野焼き見学会(予定)	あづみの公園	
3月7日(日)	森カフェ「早春の雑木林で遊ぼう」(予定)	あづみの公園	

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 魅惑のゲンゴロウを探そう!

理由 : 参加者は基より、地域の有識者の協力者を得て実施された。
新聞2社に取り上げられた。希少種確認として学術的な意義もあったと思われる。
公園内での継続的な維持管理の検討につながった。

団体名	アルプス花街道実行委員会
記入者名	(事務局補佐)安曇野市 地域づくり課 まちづくり推進係 坂口 友理

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月23日	アルプス花街道 苗配布・定植	市内9か所他	1,164人
8月17日	花壇の巡視	同上	9人

団体名	潮沢ロマンの会
記入者名	宝 喜吉

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月26日	潮沢池桜～岩洲山 散策		7人
5月20日	天田、瓜ヶ久保 山城 下見		10人
7月11日	潮沢区サロン講座(潮沢の歴史、文化)	潮沢公民館	40人
9月16日	犀川通船、信州新町、久米路橋視察		7人
10月11日	潮沢区 岩州山 散策、ガイド学習会		約40人
10月31日 ～11月1日	明科地域文化祭 パネル展示	明科公民館	
11月9日	築北村(西条)修験者お茶坊様視察		7人
11月22日	天田、瓜ヶ久保 山城 散策		20人
11月29日	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団・潮沢ロマンの会 名九鬼平家の里 散策 午後 資料調達 市職員他 松本の人々		一般 15人 会員 8人
令和3年 3月20日	(予定)柏尾 風神様	柏尾集落	
	「安曇野市市民活動フェスタ」パネル展示		
	「あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展」 パネル展示		

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : (11月29日)名九鬼平家の里 散策

理由 : 現在もお堂、平家のお墓、平家の紋所 落人の子孫はここで修験者として過ごしていたと考えられる。

団体名	NPO 法人 あづみ野風土舎
記入者名	今泉 一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月25日	朝顔(オーシャンブルー)苗頒布会	安曇野市役所 東側エントランス	約80人
6月22日 ～7月17日	「クララを植えて安曇野の空にオオルリシジミを舞わせましょう」に賛同展示	安曇野市役所	
11月11日 ～22日	あづみの市民活動フェスタ	安曇野市役所 本庁舎 1階 東ロビー	
11月29日 ～12月13日	あづみの市民活動フェスタ	穂高交流学习 センター「みらい」	
年8回	柏矢町三角地植栽	柏矢町三角地	延べ50人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：朝顔(オーシャンブルー)苗頒布会

理由：長年にわたる琉球朝顔の普及活動により知名度が上がったこと。
遠方からも苗を求めに来場して頂いた方もあった。市民の関心の高さ。

団体名	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
記入者名	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
11月1日	ふるさとさんぽ 2020 秋～三郷野沢	三郷野沢	8人
11月7日	ふるさとさんぽ 2020 秋～堀金岩原	国営公園他	8人
11月14日	ふるさとさんぽ 2020 秋～穂高新屋	穂高新屋	5人

11月29日	さとやまさんぽ 2020 秋～明科潮沢	明科潮沢	10人
2月3日 ～3月31日	さとやま楽校案内人の教室	国営公園他	10人 (予定)

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : さとやまさんぽ2020秋～明科潮沢

理由 : 里山の魅力を体感できるから

団体名	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
記入者名	浜口 あかり

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
8月28日	松本市大野川小学校 クマ授業	大野川小学校	10人
10月6日	伊那西小学校 クマ授業	伊那西小学校	60人
10月7日	「シブガキ応援隊」事前学習	下高井農林高校	15人
***	市内におけるイベントは、新型コロナウイルスの関係で中止となりました。	環境フェア 明科中学校	

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 松本市大野川小学校 クマ授業

理由 : クマが生息する場所に位置する小学校で、すでにクマに遭遇した経験を持つ児童も複数いるため、今後必要となる知識を得ることができた。という意見が先生方より多数いただいた。

団体名	烏川溪谷緑地市民会議
記入者名	内田 利幸

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月19日	カタクリ調査会	烏川溪谷緑地 森林エリア	6人

4月25日	オオルリ(野鳥)調査会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	6人
4月29日	オオルリ(野鳥)調査会	烏川溪谷緑地 水辺エリア	5人
6月7日	植物学習会	烏川溪谷緑地 森林エリア	8人
7月5日	昆虫観察会(昆虫の目から見た棲みよい森づくり)	烏川溪谷緑地 森林エリア	16人
7月24日	机の上で楽しむコケテラリウムづくり	環境管理事務 所	19人
7月25日	机の上で楽しむコケテラリウムづくり	環境管理事務 所	17人
8月2日	からすの学校「ツキノワグマ学習会」	烏川溪谷緑地 森林エリア	16人
8月22・23日	夏休みイベント「竹の水鉄砲を作って遊ぼう！」	烏川溪谷緑地 水辺エリア	14人
9月20・21日	コケ玉づくり	環境管理事務 所	13人
10月3・4日	ノルディックウォーキングを楽しもう！	国営公園⇔烏 川溪谷緑地水 辺エリア	12人
10月24日	樹木医が案内する秋の樹木観察	烏川溪谷緑地 水辺エリア	22人
11月8日	からすの学校「植物の楽しみ方と写真教室」	ほりで一ゆー 四季の郷・烏 川溪谷緑地水 辺エリア	8人
11月28日	からすの学校「地衣類と菌類の学習会」	ほりで一ゆー 四季の郷・烏 川溪谷緑地水 辺エリア	18人
12月12・13日	コケテラリウムづくり	環境管理事務 所	19組
	「あづみ野に生きるものたち・環境ネットワーク展」 パネル展示		
1月9日	からすの学校「ヤマネ学習会」	ほりで一ゆー 四季の郷	19人
1月10日	新月伐採「斧入れの儀」	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定

1月23日	からすの学校「アニマルトラッキング学習会」	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定
2月11日	新月伐採「斧入れの儀」	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定
2月14日	スノーシュー体験	烏川溪谷緑地 水辺エリア	予定

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：コケテラリウムづくり

理由：烏川溪谷の自然環境とそこに生息している蘚苔類について学習するとともに、インテリアとして活用すること。

団体名	生活協同組合コープながの
記入者名	召田 洋一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
8月1日	国営アルプスあづみの公園生きもの調査	あづみの公園	4人
8月2日	川の生きもの調査	犀川	48人
9月12日	国営アルプスあづみの公園稲刈	あづみの公園	16人
10月25日	火起こし体験	長峰山	32人
3月10日	(予)段ボール堆肥作り講座	コープながの 安曇野センター	

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：8月2日 川の生きもの調査

理由：コロナ禍での貴重なイベントで、開催することに感謝の声があり参加者も多かった。

団体名	特定非営利法人森倶楽部21
記入者名	森 芳昭

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月28日	長峰山山頂草原草刈り (主催者名:安曇野市都市建設部都市計画課)	長峰山山頂	約70人
10月25日	森林の里親促進事業 コープながの「森を知ろう&火おこし体験」	長峰山	43人
10月25日	長峰山山頂草原草刈り	長峰山山頂	約40人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 森林の里親促進事業 コープながの「森を知ろう&火おこし体験」

理 由 : コロナ禍でイベントが少なく、参加希望者が多かったこと。マッチを使うには初めての子どももいて、わくわくしたようだ。

団体名	野生生物資料情報室
記入者名	植松晃岳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月25日	オオルリ観察会*(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	12人
4月29日	オオルリ観察会*(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	8人
9月23日24日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	乗鞍岳	7人
10月14日15日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳・燕山荘	8人
10月24日25日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳・燕山荘	7人
1月23日	動物の足跡観察会*(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	17人

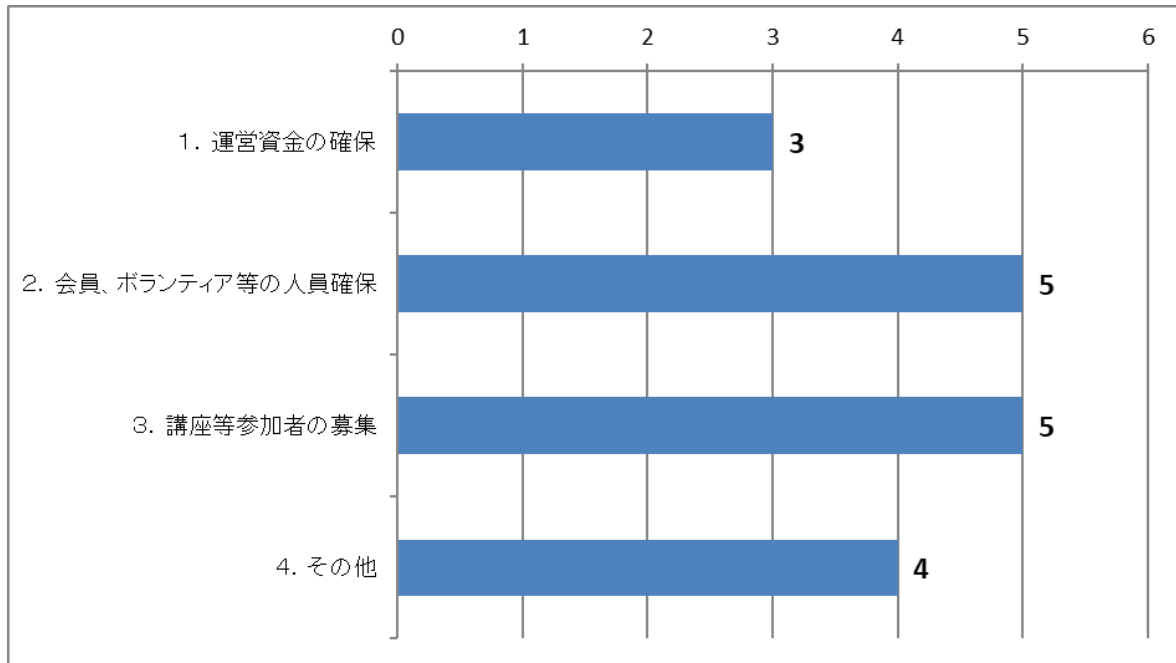
特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : ライチョウ観察会

理 由 : 現在保護活動が実施されており、関心がある人が多いため

【問】貴団体の運営、イベント・講座等の実施にあたり、課題と感じていることは何ですか。(複数回答可)

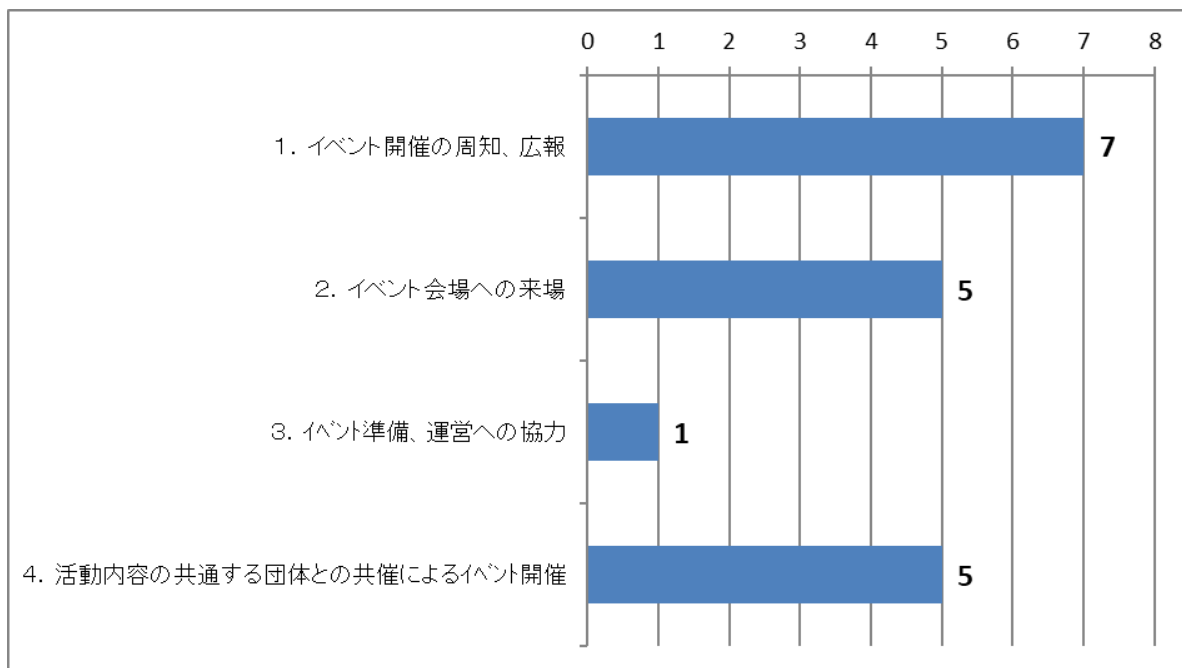
- 1. 運営資金の確保
- 2. 会員、ボランティア等の人員確保
- 3. 講座等参加者の募集
- 4. その他()



※4. その他:保全テーマに即した専門家・研究者の参画、良好な景観形成の維持
組合員以外の参加、イベントや講座を開催する時間がない

【問】貴団体がイベント・講座を実施する際、他のネットワーク登録団体や環境審議会などにどのようなことを期待しますか。該当する項目に○を記入してください。(複数回答可)

- 1. イベント開催の周知、広報
- 2. イベント会場への来場
- 3. イベント準備、運営への協力
- 4. 活動内容の共通する団体との共催によるイベント開催



【問】その他、今後環境市民ネットワークとして取り組んでみたい活動がありましたらご自由にご記入ください。(例:特定外来生物(アレチウリなど)の駆除活動)

・【里山文化ゾーンの野生生物保全】

シナノタンポポの保全活動。西洋タンポポ・交雑種タンポポの駆除により、永続的な場所が担保されている園内に保全区域＝囲い込み区域を設けて継続的な対処療法的保全を図る。(主に4～5月中旬)

オオルリシジミの保全活動(調査イベント 5月下旬～6月中旬)

ニホンザルの農作物被害に関する広域的な対策 (年間)

在来植物(万葉植物)の展示・ガイド・手入れ作業(年間)

・【里山文化ゾーンを活用したやまほいく活動】

野生生物保全をテーマとする環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」の地域普及活動と指導者養成。

森カフェの実施(さとふる。の協力あり)

・【主の里山文化ゾーンを活動の場とする活動】

地域のタカラを紹介する体験プログラムや活動の人材育成として取り組んでいる「さとやま楽校(やまこの教室、案内人の教室、田んぼの教室、里山いきもの教室)」の参加者募集

畜力を活用した里山管理イベント・試験(馬耕体験、ヤギヒツジによる除草作業試験)

・各会員の活動発表会等

・具体的なテーマは思いつきませんが、ネットワークに参加する団体を増やし、安曇野市の環境に関する意識を向上するための対話をする機会があれば嬉しいです。

・小中学生を対象とした地域学習活動

- ・現時点では特にありませんが、ご協力できることがあれば参加させていただきたいと思っています。
- ・SDGsの取組
- ・SDGsに関する講演

【問】長野県が開設した「信州環境カレッジ」事業について、該当する項目に○を記入してください。

1. 既に活用した講座を実施又は計画している。
2. 次年度以降、活用した講座の実施を検討している。
3. 活用の可否を検討するため、詳細資料の提供や説明会等の機会を求める。
4. 今のところ活用する予定はない。

